

KBI NEWS



関西聖書学院

〒630-0266 奈良県生駒市門前町 22-1
TEL:0743-70-8600 FAX:0743-70-8601
編集・発行人：高橋 めぐみ
E-mail：kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp
HP：https://www.kbiwave.com
郵便振替：001140-6-67708
銀行：尼崎信用金庫上ヶ原支店 普通 0015453

神様が願われる器へ

御殿場純福音キリスト教会
KBI理事 北村 聖慈



私は二十年ほど前にKBIで学ばせていただきました。皆さんが「神様が願われる器」へと整えられていくために三つのことをお祈りします。

①「この場所であなただを癒す神様と出会えるように」

私は在学中、両親や母教会の先生との関係に癒しが必要であると示されました。しかし、親に手紙を書こうとしても、母教会の先生に電話をしようとしても、もなかなかできませんでした。そしてようやく自分の思いを伝えて互いに折り合ったとき、混乱していた私の心が整理され、神様の恵みを受け取ることがで

きるようになりました。神様は私たちを癒すお方です。

②「この場所であなただを励ます神様と出会えるように」

私が初めて奉仕先の教会学校で奉仕を頼まれた時、必死で練習してもメッセージは辿々しく、初めて描いた紙芝居は自分でも笑えないほど下手で、不安になりながら奉仕の日を迎えました。しかし朝のチャペルで語られた御言葉に励まされ、公園に行き紙芝居を始めると子どもたちは下手な絵につっこみながら話を聞いてくれました。さらに二人の小学生がイエス様を信じ、毎週教会学校に来るようになりました。神様は私たちを励ますお方です。

③「この場所であなただを遣わす神様に出会えるように」

私は当初一年コースで入学しましたが、自分の召しもよく分からずマイペースだった私を神様は御言葉によって導き続け、必要を満たし、背中を押すように遣わし続けてくださいました。皆さんがそれぞれのコースを終える時にどのような選択をしても、遣わしてくださる神様と出会うなら、その先の働きや学びは主にあつて有意義なものになると信じます。

「あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命しました。」ヨハネ十五章十六節

「わたしは決してあなたを見放さず、また、あなたを見捨てない。」ヘブル十三章五節

私たちを遣わすお方は、私たちを選び、決して見捨てないお方です。皆さんのKBIでの学びが、真実な主にあつて実りあるものとなることをお祈りしています。ハレルヤ。



イエス様に望みをかけて

二年 白野 愛美



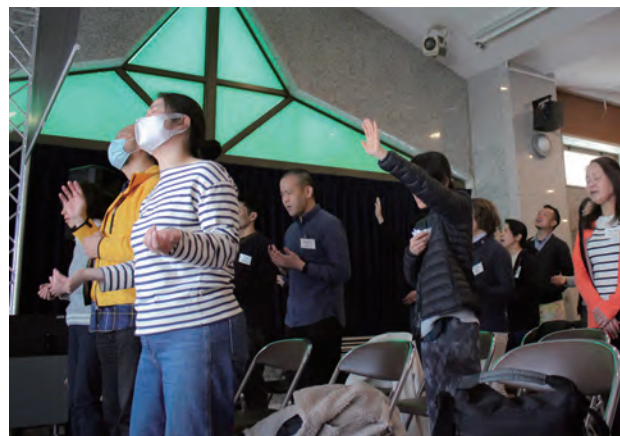
講師の米村英三師

今年の三週間コースでは、熊本の大阪キリスト教会より米村英三先生をメイン講師にお迎えしました。三日間にわたる特別講義とチャペル（学内で行われる土曜日午前中の礼拝）を通して、「この方に望みを」をテーマに語っていただきました。聴講生を含めると毎回七十名を超える参加者が集まり、先生のお話に聴き入りました。

講義では、申命記や民数記のみことばを中心に、神様に導かれるままに従ってこられたご自身の人生を証ししてくださいました。

特に印象的だったのは、チャペルで語られた「自分で選んだ人生よりも、神様に選んでいただいた人生のほうがはるかに素晴らしい」という言葉です。劣等生だった学生時代に宣教師に出会い、キリストに人生をささげようと決意しましたが、その道は前途多難でした。家族の激しい反対に遭い、神学校行きを断念。その後ついに献身の道が開かれましたが、熊本での牧会が予想外の導きだったそうです。ご自分の人生はまさに、ヨハネ二十一章十八節の「ほかの人があなたに帯をして、望まないところに連れて」行かれるものでした。なぜそれが素晴らしいといえるのでしょうか？

アブラハムは、彼の生きていく間に約束の土地を見ることはできませんでしたが、しかし、彼はそのことに一言も文句を言いませんでした。それは、彼がその生涯を通して、地上の富ではなく天の祝福を喜ぶ者に変えられていったからです。先生ご自身の人生も、自分の目的や望みはかなえられませんでした、が、振り返れば何一つ不足はなかったといえます。それは、イエス



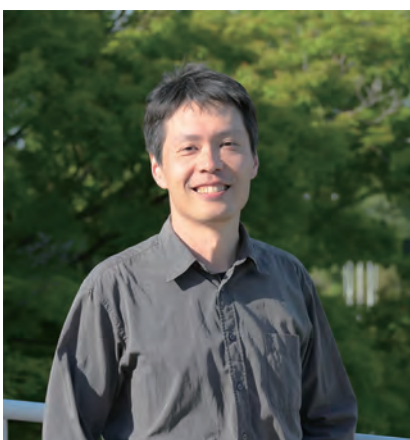
様が十字架で何もかも成し遂げてくださったからです。私たちはただ主と共にそれを祝う人生を歩めばよいのです。先生のこやかな表情、朗らかな語り口調からも、その確信に満ちた信仰が伝わってきました。

これから献身の道を歩むうえで、私たち一人一人が応答するとき、主がその目的を必ず成し遂げてくださいます。たとえそれが自分の思いと違って、主のなさることはすばらしい。その信仰に立ちたいと思われま

書き留めきれない恵み

三年 岡田 直樹

思いがけない導きで三年生に編入したため、KBI生活の感覚が戻らないまま三週間コースがスタートしました。自分の至らなさに閉口しながらも、始まってすぐに気付いたのは、主の恵みの圧倒的な豊かさでした。それらは、主ご自身から、あるいは信仰の友を通して与えられました。最初の数日、その日毎に感謝する事柄をノートに記録しようとなりました。しかし、毎日項目が増えて書き留めきれず諦めざるを得ませんでした。自身自身ではなく「この方に望みを」置く信仰と、祝福にあふれた幸いな時を与えてくださった主に讃えます。



わたしの羊を飼いなさい

二年 山舖 岳

この三週間でヨハネの福音書二十一章の「わたしの羊を飼いなさい。」という言葉が何度も語られ、羊のために自分が望ましいことをすることが羊を愛するということだと学びました。私は自己中心的な人間で、自由に好きなことをしてきました。しかし、主からの語りかけに応答して、一年生に心を配り、祈り、仕え、共に歩むように努めました。どれだけのことができたかはわかりませんが、これまでとは違う喜びや充実感が得られました。「自分のいのちを愛する者はそれを失い、この世で自分のいのちを憎む者は、それを保つて永遠のいのちに至ります。」

ヨハネ十二章二十五節



出発した人生

一年 福田 紗弓

私にとって三週間コースは「神様の声を聞いて出発した」ことを実感する時でした。特別講義で講師の米村先生は、神様がモーセに対して「向きを変えて出発せよ」と語った場面から、人生を主に捧げる決心をした時のことを話されました。

それを聞いてモーセや当時の米村先生と、仕事を辞めてKBIへ入学した今の自分が重なって見えました。入学までの一年間は、一步を踏み出したいのに勇気が出ず、立ち止まっている感覚でした。ようやく出発したことを実感する今、母教会の熱い祈りとノンクリスチャンである両親の勇気、何より神様の誠実さが背中を押してくれたのだと感謝が溢れています。



人生のターニングポイント

一年 松尾 夢乃

私は三週間コースで人生の転機となる経験をしました。まず、毎日の礼拝や授業の中で十字架の赦しと恵みを受け取りました。次に、祈りやカウンセリングの中で親を赦さない思いにこんなにも囚われていたのだと気付くことができました。そして、家庭で苦しむ子どもたちの助けになりたいという思いとともに、手放しかけていた救い主を伝えるということができました。私の弱さのうち完全に働かれる主の御業を見てみたいと強く思い、主に従う決意をしました。主と共に歩む道には喜びと平安と希望があることに感謝します。



入学の証し

一年 齋藤 詩音

ハレルヤ、御名をほめたたえます。昨年の三週間コースを経て今年本科へ導かれた経緯を証しさせていただきます。約一年前、私は「あなたの父の家を離れてわたしの示す地へ行きなさい」(創世記十二章一節)のみことばを受け取り、住み慣れた札幌の地を離れてKBIの三週間コースに参加しました。その中でヨシユア記三章十五、十六節を通して、主を信じて一歩踏み出すチャレンジを受け取りました。「今の自分にとっての一步はKBIで一年間を主に捧げ、導きを祈り求めることだ。ヨルダン川の流れに足を踏み入れよう」と本科一年コースへ延長することを決意しました。しかし、母教会との話し合いを重ねた結果、その年は札幌に留まることになりました。



その後母教会に仕えながら御心を求めていたある日、行くべき道を示されたいながら素直に従えない自分の弱さが照らされました。



ました。主に従う道を選びたいという思いで、改めて母教会に送り出してもらいたい旨を伝え、今年度本科一年コースへ入学しました。

今なお私は多くの深刻な弱さを抱えています。しかしこんな私が今日も赦され、愛されている。その恵みを握りしめ、弱さや欠けもすべて主に捧げていきたいと願っています。主がヨルダン川の流れをせき止めてくださったように、この者の歩む道をも大胆に開き、乾いた地を渡らせてくださることを確信しています。

献身をしたい、神学校に行つて学びたいと考え始めたのは、私が大学生の時でした。十五年の時を経て、今年主がその道を開いてくださり、KBIに入学しました。今まで何度も挑戦しましたが、扉が開くことはありませんでした。それでも、不思議と私の心の中に献身の思いが消えることはありませんでした。なんでもすぐに飽きてしまう私ですが、十五年間も思いを持ち続けられたのは、きっと神様が私の心にその思いを与え続けてくださったからだと思います。

KBIに入学する前はメディア宣教団体で働いていました。その働きを通して、宣教の実を結んでいくことは地域教会なしでは成り立たないことを知り、地域教会に仕えていきたいと思うようになりました。

結婚したことも一歩踏み出すきっかけになりました。妻には結婚する前から献身の思いを伝えていましたが、収入のことや

将来のことが心配になり決断ができませんでした。しかし妻にKBIに行きたいことを伝えると、とても喜んでくれ、応援してくれました。共に神様に献身できるパートナーがいることはなんと心強いことなのでしょうか。

主はアブラムに言われた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。」創世記十二章一節

この御言葉を胸に、これからの献身の道を歩んでいきたいです。

献身の証し

一年 小松 佑多

シエア&ミツシヨンの証し

三年 柿谷 つばさ

三週間コース中、シエア&ミツシヨンという日がありました。先生が、ルカ十章一節のみことば「その後、主は：…ご自分が行くつもりすべての町や場所、先に二人ずつ遣わされた。」から、「地域に福音を携えてG o i n t o してきて欲しい」という話をされました。

当日までは、主が私たちのチーム五人をどこに、またどのよう に導かれるのかを思い巡らせながら、主に求めつつ過ごしました。当日は、K B I の置かれて いる生駒の地に行くことになりました。特にメンバーの一人が これまで散歩コースで関わって きた大切な方々と、主の愛を携 えて交わりたいという思いが強 くありました。行先は暗（くら がり）峠方面へ歩き、またその 土地を知るために美味しいもの を頂くことになりました。

主は私に平安を与え、明確に どこに導いてくださっているの かを教えてくださいました。メ ンバーと共に祈るうちに一致が

与えられ、それぞれの持てる賜物が余すところなく用いられました。当日は絶好のピクニック日和で、良い交わりの時間となりました。出かけて行った場所すべてで歓迎を受けました。生駒は多宗教の混在する土地です。相手の話を受け止めつつ、本当の神様を知って欲しいと祈りながら関わっていく、宣教の難しさを味わいました。その中でイエス様の紹介をすることができ、訪問先すべてで祝福の祈りを捧げる事ができました。心は喜びと感謝で満ちた一日でした。



弟子を作る弟子となる

ビーワン大阪キリスト教会

K B I 教師 佐伯 淳平

「ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。」(マタイ二十八章十九節) 復活されたイエス様は、ガリラヤの山の上で弟子たちに命令を与えました。この命令は私たちにも与えられているものです。しかし、私たちは本当にその命令に従っているでしょうか。実際に弟子を作る働きに参加しているのは、教職と呼ばれる方々がほとんどということが現実ではないでしょうか。

この授業は、実際に宣教の現場で用いられている「フォロワーイングジーザス」というテキストに沿って進められます。イエスさまが弟子たちに教えられたことを十のステップにまとめ、それらを新しい信者に教えることを、実際に練習しながら身につけていきます。ただ聞いて学ぶだけではなく、練習し、実践してもらうことに重点を置いて

授業紹介「フォロワーイングジーザス」

います。「弟子を作る弟子となる」がカギとなる言葉です。

毎年、授業の中で教えられたことをすぐに教え始め、素晴らしい主の御業を体験する学生たちが与えられています。この授業を通して、学生たちに「弟子を作る弟子となる」ビジョンが与えられるように祈っています。日本の教会の信徒の皆さんが「お客様」としてではなく、「弟子を作る弟子」として歩むことができますように。キリストの弟子が日本中に、世界中に満ち溢れますように！



●二〇二四年度 入学生 ●

三週間バイブルコース

長尾 浩明 (国分福音教会)

三中 孝哲 (須崎福音キリスト教会)

山城 義也 (隣人キリスト教会)

朝生 ハンナ (東名古屋キリスト教会)

石川 洋子 (川西福音教会)

内田 紀代香 (カリスチャペル福岡)

大竹 史恵 (奈良ニューライフキリスト教会)

加藤 祥子 (東名古屋キリスト教会)

小林 真紀 (東名古屋キリスト教会)

永田 豊子 (カリスチャペル福岡)

前原 久美子 (堺福音教会)

松岡 知子 (国分福音教会)

本松 コース

小松 佑多 (吹田聖書福音教会)

斎藤 詩音 (東栄福音キリスト教会)

坂上 功 (神戸バイブルフェロシシップ)

月城 ヨハネ (主イエスの恵み教会)

鍛冶 真理耶 (洛西上里チャペル)

下田 とも恵 (御影福音教会)

松尾 夢乃 (リバイバル聖書教会)

角田 麻千子 (南大阪福音教会)

二宮 愛 (伊都キリスト教会)

福田 紗弓 (ビーワン大阪キリスト教会)

CPRC(教会開拓・刷新コース)

上野 哲志 (塩釜聖書バプテスト教会)

小出 和廣 (Anchor Church)

川崎 瑞穂 (南大阪福音教会)

●二〇二四年度 週末奉仕教会 (母教会は除く) ●

一年生

小松 佑多 (岬福音教会)

斎藤 詩音 (チャペル犬山)

下田 とも恵 (淀川グレイズビルトチャーチ)

二宮 愛 (奈良ライフソングチャーチ)

二年生

加藤 優樹 (小浜キリスト福音教会)

名嘉真 海成 (千代田福音教会)

花岡 愛喜 (祝園チャペル)

山舖 岳 (五條福音チャペル)

神澤 日子 (川西福音教会)

林 ハンナ (ベテル清水教会)

松井 房子 (活けるキリスト高田一麦教会)

三年生

松浦 光也 (堺福音教会)

石田 飛鳥 (カリスチャペル)

岡本 真知子 (箕面福音教会)

柿谷 つばさ (COOS大阪)

田口 恵子 (ビーワン大阪キリスト教会)

津地 ひかり (高砂教会)

山本 由美 (武生自由キリスト教会)

作業委員の奉仕を通して

三年 松浦 光也

今学期は作業委員の委員長としての奉仕が与えられました。現在KBIでは、金曜の午後の時間が作業の時間として割り振られており、草刈りから設備修理など出来ることは学生全員ですることになっていきます。私はKBIでどんなことをするのか何も知らず入学したので、この作業の時間があるということが驚きでした。神学生はこのように驚きでも覚えているのかとびっくりを今でも覚えています。最初はカリキュラムに組み込まれていたので、その一環としてこなしていました。しかし、この作業の中で誠実さや神様に与えられているものを管理することが次第にわかってきました。また、作業委員として作業の内容をアレンジするにあたり、視野を広く持ちつつ、クリエイティブに物事を考える必要性を教えられています。修理が必要などころや、作業が必要な場所を見渡すこと。どのように作業を進めていくか、そしてどのように伝え、リードしていくかということ

学んでいます。これからの献身生活に必要な要素がみついている時間だと思わされています。ただ与えられた仕事をこなす時間だった作業が、作業委員という奉仕が与えられたことで考えが変わり、ここから多くの学要素があるのだと思うようになりました。神様は様々なことを通して私という器を練り、器を形造ってくださるのだと思わされています。



献金を感謝いたします

献金者ご芳名（敬称略・順不同）（2024.2.6～2024.5.20）（KBIへの直接献金分）

■一般会計献金

<KBIを支える会>

個人：坂下キク子、大田伯子、井野葉由美、安黒務、小山大三、黄金井尚美、斎藤邦夫、兼松道子、熊谷雄二、安野清子、石崎政登、高橋めぐみ、加賀清孝、南澤順子、山中力、金森徹・和子、安川真知子、小口雅人、熊本直美、川崎綾子、鶴野英子、松本亜紀子、李鐘河、杉山準規、秋元清友、川本奏人、吉岡家子、米村英二、菊田佳子、無記名2名、匿名希望2名

教会 & 団体：高槻一麦教会、奈良福音教会、鈴鹿キリスト福音教会、尾上聖愛教会、可児福音教会、京都市オンの丘キリスト教会、旭川神愛キリスト教会、狭山福音教会、大阪聖書学院、八尾南福音教会出戸バイブルチャーチ、浜松汀キリスト教会、西可児キリスト教会、園田チャペル、八木山聖書バプテスト教会、チャペル犬山、北九州チャペル、峰町キリスト教会、岡山チャペル、東栄福音キリスト教会、高砂教会、ゴスペルチャーチ千里

<運営支援献金>

日本福音教会（JEC）、岐阜純福音教会、御殿場純福音キリスト教会、美濃グレースチャーチ、伊勢原聖書

キリスト教会、保土ヶ谷純福音教会、ジャパン・ベサニー・ミッション、KBI支援協力会（FCMF諸教会）、武生自由キリスト教会

<特別献金>

1. 建設基金献金

個人：春名裕

教会&団体：秦野クリスチャンセンター

2. その他

個人：吉田成就、新川広未、橘忠、内田紀代香、小山大三、匿名希望1名

教会 & 団体：日本福音教会（JEC）、JEC総合宣教委員会、奈良キリスト教会、国分福音教会、2023年度KBI3年生、2024年度KBI生、KBIカフェチーム

■奨学基金献金

個人：宮下真由美、竹川正英、芝連代、金森徹・和子、南充恒・生子、森本裕・眞美子、奥本耕史、長谷川みちる、菊田佳子

※KBIへの直接献金分のみ記載しています。各団体に献金して下さっている場合、ご要望がない場合教会名でなくその団体名を記載しています。どうぞご了承ください。

KBI 2023 年度会計報告

(2023.4.1～2024.3.31)

一般会計	(収入)	KBIを支える会献金	3,454,380	(支出)	維持管理費	13,019,105
		支援団体献金	15,656,339		経営費	12,540,373
		特別献金	6,185,307		人件費	27,298,542
		学生維持献金	25,736,200			
		その他	2,847,820			
		前年度繰越金	3,059,596		次年度繰越金	4,081,622
		収入合計	56,939,642		支出合計	56,939,642
奨学基金	(収入)	奨学基金献金	830,000	(支出)	奨学金支給	1,060,000
		前年度繰越金	1,831,913		次年度繰越金	1,601,913
		収入合計	2,661,913		支出合計	2,661,913

※その他の基金・積立金については省略します。



KAIROS
カイロス宣教コース

宣教師の経歴を持つ講師陣。
生きた宣教のミッション！

内容：聖書神学、歴史、戦略、残された働き
文化、チームワークなど (全9セッション)
日程：前半 10月24日(木)~25(金)【前半のみオンライン参加可】
後半 10月30日(水)~11月1日(金) 計5日
費用：27,500円(食費、宿泊費込)
会場：関西聖書学院(KBI)
mail：kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp

世界105カ国で広く実践されている
宣教チャレンジコース

締切：10月5日まで



- O.B.O.G通信 ●
- 結婚おめでとうございます
- 山田愛也師 (二〇二〇年度卒)
- と阿野愛姉
- 二〇二四年二月二十三日
- 佐藤創師 (二〇二一年度卒)
- と宮内満歩姉(二〇二二年度卒)
- 二〇二四年三月十六日
- 豊村恵悟師 (二〇二一年度卒)
- と長谷川みちる師(二〇一八年卒)
- 二〇二四年六月一日
- 宣教師帰国
- 安川圭吾・美穂宣教師ご家族
- 十六年に及ぶ宣教活動を終え、
- 二〇二四年三月六日にタンザ
- ニアから本帰国されました。

- 祈り課題 ●
- ・ 国際部の十月スタート準備のため。
- ・ KBI教師、理事、スタッフの健康と働きの祝福のため。
- ・ 二〇二四年度の予算が満たされるように。
- ・ 十月のカイロス宣教コースが、諸教会の祝福となるように。
- ・ 学生たちの祝福と卒業、修了後の導きのために。
- とりなし手の募集 ●
- KBIを覚えて、とりなし祈って下さる方を募集します。
- 是非 kbi-juke24@hera.eonet.ne.jp までご連絡ください。毎月祈りのリクエストをお知らせします。また、緊急の祈り課題もお伝えします。

● 編集後記 ●

今年も個性豊かな新入生が入ってきました。ともに学ぶ中、十字架の恵み、神様の大きさ、福音の感動を新たにされています。お互いに励まし合い、研がれ合っていきたいと願っています。

KBIニュース委員一同

